



種から育てる

花

のまちづくり

“たね本”

## はじめに

---

長くて厳しい寒さを有する札幌では、花は購入するものというイメージをお持ちの方が多いようですが、花の種類によっては「意外と簡単に」種から花苗を育てることができます。はじめて体験する方には抵抗があるかもしれませんが、ちょっとした知識やコツと花への愛情があれば、安価に多くの花を楽しむことができます。

花の育苗・栽培には多くの手法がありますが、本冊子は、なるべく安く、分かりやすく、容易にできることを目指して、「セルトレイ（種まき用の容器）」を用いた育て方を中心に、基本的なポイントをまとめたものです。

是非ともこの機会に「種から育てる花苗づくり」に挑戦していただき、少しでも多くの皆様に、自分の手で育てた愛情いっぱいの苗が花開いた時の喜びを感じていただくことを願っております。

## 札幌市の 花と緑のまちづくりについて

---

札幌市では緑豊かなまちづくりの一環として、歩道の植樹ますや植樹帯、公共用地等に植える花苗を、市内の幼稚園・小学校の子供たちや、地域の方々が種から花苗を育苗・植栽する取り組みを進めています。

一人でも多くの皆様に種から育てる花苗づくりの楽しさを体験していただき、ご家庭の庭もさることながら、一歩外に出て、自宅前の歩道の植樹ますや植樹帯、公園の花壇なども皆様の育てた花苗で彩っていただき、花と緑のまちづくりが広がっていくことを期待しております。

# 目次

---

## 準備編

- 花苗づくりの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・ P.04
- 花の種類・・・・・・・・・・・・・・・・ P.06
- 道具をそろえよう・・・・・・・・ P.08

## 実践編

- 種をまこう・・・・・・・・ P.10
- 苗を育てよう・・・・・・・・ P.14
- 苗を植えよう・・・・・・・・ P.20
- 苗を植えた後の管理・・・・・・・・ P.24

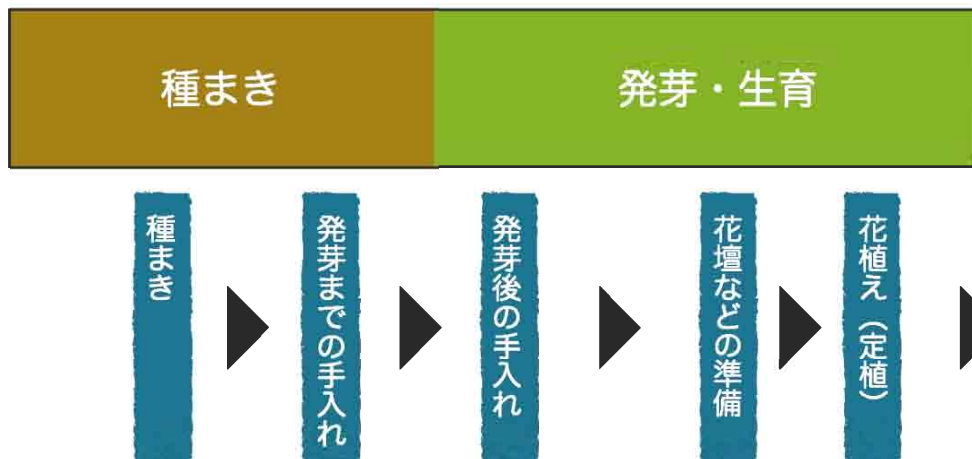
## 応用編

- 花壇のデザイン・・・・・・・・ P.28
- 宿根草の紹介・・・・・・・・ P.32
- よくある質問について・・・・・・・・ P.34
- スケジュール用紙の使い方・・・・・・・・ P.36

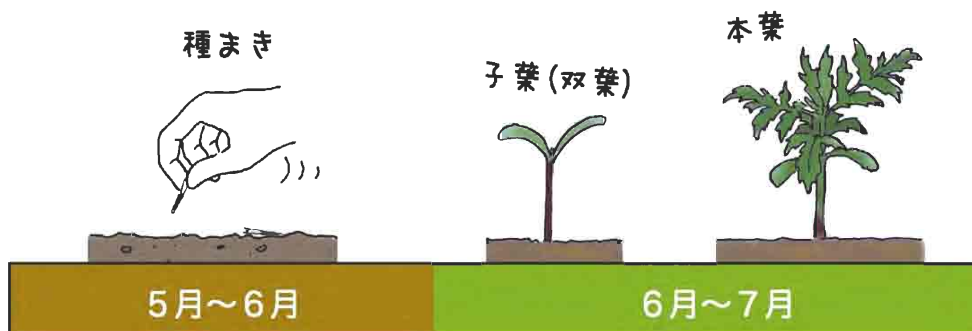
# 花苗づくりの流れ

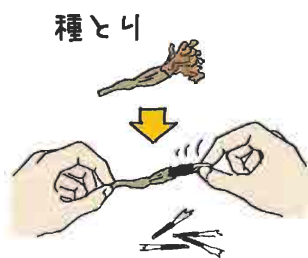
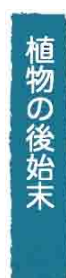
ここでは、花苗を種から育て、花壇に植えつけ、花が終わるまでの1年のスケジュールを紹介しています。

種をまいてから開花するまで、おおよそ2~3ヶ月かかります。花壇に花を植える時期を決めて、種のまきどきを検討しましょう。



## マリーゴールド（1年草）の生育サイクル





7月～10月

10月～

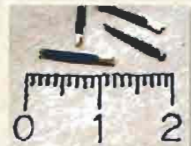
10月～

# 花の種類

ここでは一年草の中でも、比較的私たちに身近で人気のある種類についていくつか紹介します。ここに掲載されていない花を育てる場合には、花の種袋や市販の園芸書等を参考にしてください。また、ご不明な点につきましては緑のセンターまでお問い合わせ下さい(当冊子35ページ)。

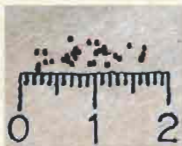
一年草とは発芽～開花し、枯れるまでのサイクルが一年以内の花をいいます。

## マリーゴールド



- ①: 30~200cm
- ②: 15°C~
- ③: 6~10月
- ④: セルトレイ育苗
- ⑤: 赤・オレンジ・黄
- ⑥: 比較的育てやすく、種からの花苗づくりに初めて取り組む方にお勧めです。

## キンギョソウ



- ①: 15~100cm
- ②: 15~20°C
- ③: 6~9月 ④: セルトレイ育苗
- ⑤: 赤・ピンク・黄・白
- ⑥: 光によって発芽が促進される「好光性種子」なので、種に土をかぶせずに発芽させます。

## スイートアリッサム



- ①: 10~20cm
- ②: 15~20°C
- ③: 6~8月 ④: セルトレイ育苗
- ⑤: 白・ピンク・紫・ローズ・アプリコット
- ⑥: 比較的育てやすく、うまく夏越しができれば秋に再び花を咲かせます。

## インパチェンス



- ①: 30~40cm
- ②: 20~25°C
- ③: 6~10月 ④: セルトレイ育苗
- ⑤: 赤・ピンク・オレンジ・紫・白
- ⑥: 光によって発芽が促進される「好光性種子」で、種に土をかぶせずに発芽させます。比較的育てるのが難しい種類です。

- ①：草丈(cm)
- ②：発芽温度
- ③：開花期
- ④：育苗方法
- ⑤：花の色
- ⑥：特徴

## サルビア



- ①：30~200cm
- ②：20~25°C
- ③：6~10月
- ④：セルトレイ育苗
- ⑤：赤・青・ピンク・紫・白・黒ほか
- ⑥：多くの品種がありますが、一般的に見かけるものはスプレデンス(赤)、ファリナセア(ブルーサルビア、青)という種類です。

## ペチュニア



- ①：30~50cm
- ②：25°C~
- ③：6~10月
- ④：セルトレイ育苗
- ⑤：赤・黄・ピンク・紫・青・白
- ⑥：光によって発芽が促進される「好光性種子」で、種に土をかぶせずに発芽させます。種が非常に小さいです。

## ナスタチュウム



- ①：20~45cm
- ②：15~20°C
- ③：6~7月
- ④：直播き
- ⑤：赤・オレンジ・黄
- ⑥：種は1晩水に浸し、外皮をとってからまくと発芽しやすくなります。

## 矮性ヒマワリ



- ①：30~50cm
- ②：20~25°C
- ③：7~10月
- ④：直播き
- ⑤：黄
- ⑥：花壇やプランターに直接種をまきます。丈夫で育てやすい花です。

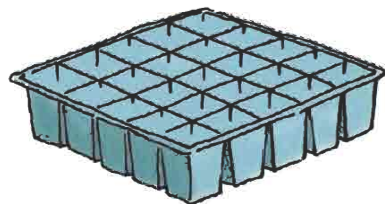
## コスモス



- ①：40~200cm
- ②：15°C~
- ③：7~10月
- ④：直播き
- ⑤：黄・ピンク
- ⑥：花壇やプランターに直接種をまきます。丈夫で育てやすい花です。多くの品種は草丈が高く強風で倒れやすいので支柱を立てるとよいでしょう。

# 道具をそろえよう

これさえあれば発芽したも同然。そんな選りすぐりの道具たちを紹介します。



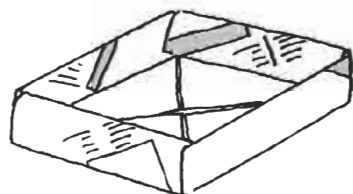
## 種をまく容器 (セルトレイ)

マス目状に植え穴が連なったプラスチックトレイで、各マスに種をまき、そのまま花苗を育てます。プラグトレイともいいます。



## ビニール袋

容器(セルトレイ)の防水用受け皿として使います。また発芽までの間に保温する温室としても利用できます(36穴のトレイを使う場合は45Lの袋が丁度いい大きさです)。



## トレイの受け皿

室内で育苗する際に使用する水受けの容器で、セルトレイの下に敷いて使います。ビニール袋で覆うとセルトレイの底から水を吸わせる「底面吸水」に利用できます。

作り方は11ページで紹介しています。お菓子の空き箱などでも代用できます。



## 新聞紙

トレイの受け皿をつくるのに使います。



## ピンセット

種まきや、発芽後の間引きを行う時にあれば便利です。





## 種まき用の土

排水性、通気性、保水性に優れ、病害虫のない清潔な軽い土です。初期生育に必要な肥料が配合されているものもありますので確認しましょう。



## 液体肥料

即効性の液体肥料はセルトレイでの育苗時や、植えつけ後に追肥として使用します。肥料が配合されていない種まき用の土を用いる時は、育苗初期は2,000倍程度に薄め、本葉展開後に、週に一度程度水やり代わりに与えます。



## 移植ゴテ(スコップ)

苗を植えかえる時、地面を掘ったり、土寄せをしたりするのに使用します。



## 花の種

花の種袋には、種に関する情報が満載ですので、種をまいた後も保管しておいて参考にしましょう。



## ペットボトル (500ml)

水やり用に使います。お手持ちの水差しや、やかん等でも大丈夫です。

ワンポイントアドバイス!



これらの道具はホームセンター等で手に入れることができます。

# 種をまこう

花苗づくりは、栽培環境や育苗技術のレベルなど、諸条件に合わせて様々な育苗方法がとられています。ここでは育苗期間が短く、ビニールポットへの移植作業を省略できるお手軽な育苗方法として、種まき用の容器（セルトレイ）を用いた育苗方法を紹介します。

## 種をまいて育てる

種まき用の容器  
・資材を使う



地面に直接まく



## 苗を購入して植える

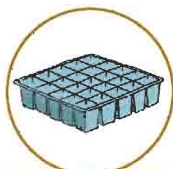


種まき用の容器（セルトレイ）を用いた育苗方法を紹介

## 必要な道具（資材）



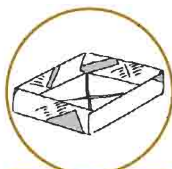
花の種



種をまく容器  
（セルトレイ）



ビニール袋



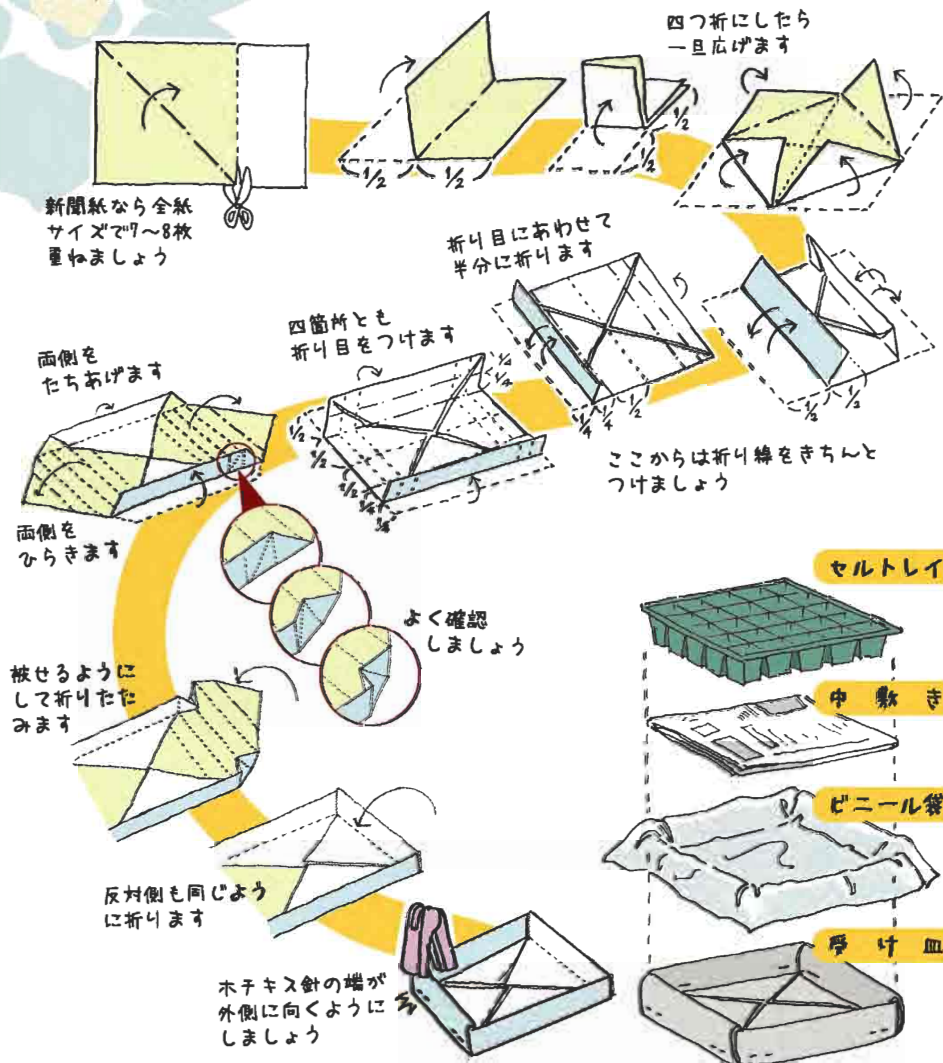
トレイの受け皿



種まき用の土

# 1 受け皿づくり

苗を育てるための容器セットをつくります。



実践編  
種をまこう

種まき

発芽・生育

開花

種とり

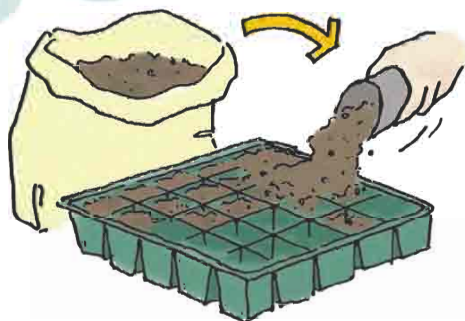
花が終わった後の管理

# 種をまこう

## 2 容器（セルトレイ）に土を入れる

容器のしきりの高さまで土をいれます。

土を無理に押し込む必要はありませんが、トレイの外側が不足になりがちなので注意して下さい。



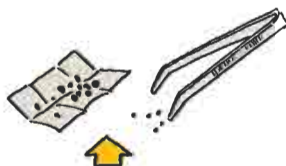
容器の高さいっぱい  
にします



## 3 種をまく

種を1マスに1~2粒ずつ土の上に置きます。

培養土の中に種を押し込まなくても大丈夫です！

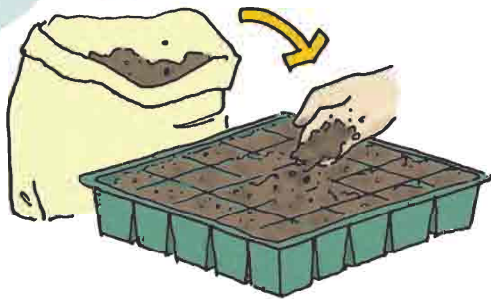


小さくて難しいときはピンセット  
または折った厚紙等を使うと  
便利です

## 4 土をかぶせる (覆土) ふくど

光が当たっているとうまく発芽できない種 (嫌光性種子: ニチニチソウ・マツバボタン・ナススタチウム・ハナビシソウ・ルピナスなど) は、種が隠れるように土をかぶせます。

逆に、光が当たっていないとうまく発芽できない種 (好光性種子: ペチュニア・インパチェンス・キンギョソウなど) は土をかぶせません。



隠れる程度に均一にまき  
覆土の後に上から押さえ  
つけないようにしましょう

## 5 水を与える

セルトレイと受け皿の隙間からたっぷり (36穴セルトレイの場合は、約2リットル) の水を与えます。

時間が経つと、水が浸透して土の色が変わります。

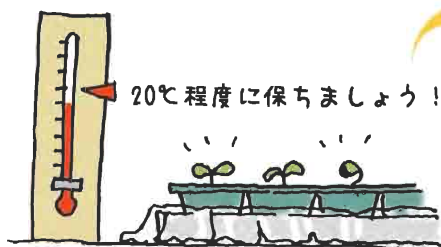


容器の底から水を吸わせると  
均一に水やりができます  
この方法を「底面吸水」といいます

# 苗を育てよう

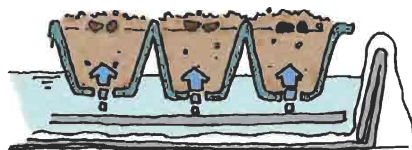
## 1 発芽までは「水」と「温度」が大切です

種の種類にもよりますが、20°C程度に保つと3~14日程度で発芽します。また発芽までは十分な水分が必要です。



温度が低い場所では、10°C以下にならないようにビニール袋などで覆うなど、保温する工夫をしましょう。また逆に温度が高くなりすぎる玄関フード内等では30°C以上にならないように注意しましょう。

発芽期の乾燥は危険ですので、最初の10日間くらいは水に浸ったままにしておきましょう。



トレイの1/3程度が水につかった状態

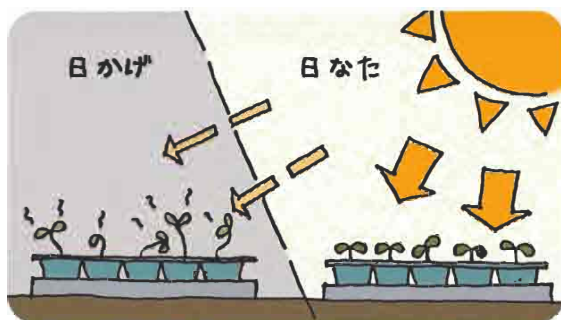
ワンポイントアドバイス！

発芽までの目安は次のとおりです。

マリーゴールド	5日程度
サルビア	10日程度
ペチュニア	10日程度

## 2 発芽後は「水」と「光」が大切です

発芽しはじめたら、玄関フードや軒先など、なるべく日当りのいい場所で育苗してください。上からの水やりは苗が倒れたり、生育が遅れたりするので底面から水を吸わせませす。水のやりすぎにも注意しましょう。



水やりを忘れないように、週に2回曜日を決めて水を与えてもいいでしょう。

例えば、火曜日に1回水やりをすれば...

次は金曜日にもう1回水やり



生育状況や置き場所によって乾燥具合が異なるので、様子をみながら量を調整しましょう。

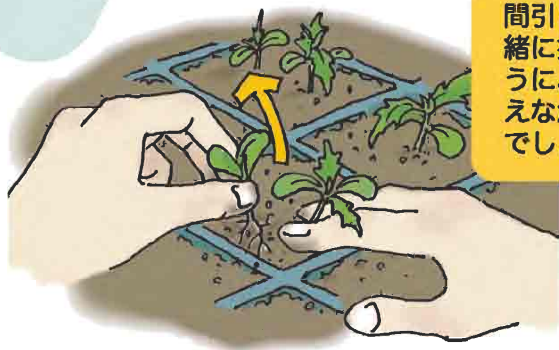
種が流れることもあるので上からの水やりはやめましょう



# 苗を育てよう

## 3 <sup>ま</sup>び 間引き

トレイの一区画から複数の葉（子葉）が出てきたら、生育状態の悪いほうの苗を、優劣が無いときは中央にある苗を残して間引くようにします。



間引く時に残す苗が一緒に持ち上がらないように、指先で土を押さえながら間引くといいでしょう。

実践編

苗を育てよう

発芽して最初の葉っぱが「子葉(双葉)」



子葉の次に出てくる葉っぱが「本葉」



### 良い苗の見分け方



### ワンポイントアドバイス！

肥料が含まれていない土の場合、本葉展開後に1週間に一度2,000倍に薄めた液肥を水やりの代わりに与えましょう。肥料の与え過ぎは生長を阻害してしまうので、濃度に注意してください。



## 4 <sup>てきしん</sup>摘心 (ピンチ)

苗のボリュームを増やし、姿を美しくするために「摘心 (ピンチ)」を行います。摘心は生育初期に芽先 (芽の生長点) を摘み取ることで、すぐ下から複数のわき芽が出てきてボリュームが増え、姿が美しくなります。



何度か行うことで  
自分好みのボリューム  
にすることが可能です

### ワンポイントアドバイス！

例えば、マリーゴールドは本葉が4組ほど出揃ったら、ペチュニアは草丈が7~8cmになったら摘心しましょう。

# 苗を育てよう

## はなめ 5 花芽 (つぼみ) を摘む

苗を植えつけるまでは、花芽 (つぼみ) ができたら取り除きます。花を咲かせるのに使う養分を苗全体の生長に使うことができ、丈夫な苗に育ちます。



ワンポイントアドバイス!



一度花芽を摘んでしまうと、次の花芽ができるまでに時間がかかるので、花芽を摘むのは植えつける1週間前までにしましょう。

## 6 苗を植えつける時期(定植)です ていしょく

トレイ内に十分に根がまわる頃が植えつけ(定植)の時期となります。目安としては、晩霜の心配がなくなる5月20日以降(その年の気候によって変動します)ので注意してください)が植えつけの適期となります。

そろそろ植えつけです！



根がまわりすぎている場合には  
ほぐしてあげましょう



# 苗を植えよう

## 1 植えつけ（定植）の準備

植えつけ（定植）の前に植える場所や器を準備しておきましょう。



苗が大きく育ったら  
一回り大きな鉢やプ  
ランター、花壇など  
に植えつけます。

実践編

苗を植えよう



例えば...こんな鉢・プ  
ランターがあります。

## 2 土づくり

土づくりは花づくりの基本です。今まで何も植えられていないような所や、土が固くなっているような所は、土壌改良が必要です。

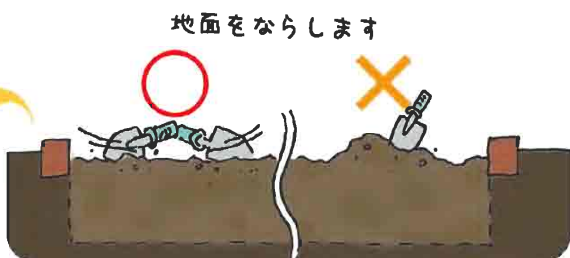
30cmくらい掘り起こして  
耕し、柔らかくします。雑  
草や木の根、石などは取り  
除きます。



腐葉土やピートモス等を、  
1㎡あたり20リットル程  
度よく混ぜ合わせます。水  
はけが悪ければ火山礫等  
を入れます。堆肥や石灰、有  
機肥料等を入れる場合は、  
植える2~3週間前に混ぜ  
ておきましょう。



植えつけ時は土をならし、  
緩効性肥料※を入れるとよ  
いでしょう。



ワンポイントアドバイス！👍

※緩効性肥料とは、与えた時から肥料効果があらわれ、長期間効果が持続する肥料のことをいいます。

# 苗を植えよう

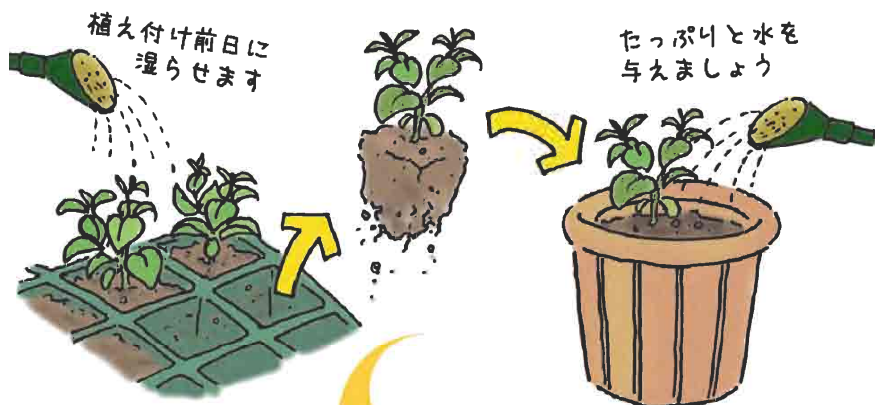
## 3 苗の植えつけ

植えつける時は小苗、ポット苗等が乾いていたら根鉢が崩れてしまうことがあるので、前日にたっぷり水をやって湿らせておきます。

苗と苗の間は20～25cm程度とし、花の大きさやデザイン、苗の数で調整しましょう。

植えつけ後は、苗が土になじむように水をたっぷり与えます。その際、苗に水がかからないように根元に与えましょう。

### 植えつけの基本



根がまわりすぎていたら底の部分や横をほぐしたりしてから植えましょう。

ワンポイントアドバイス！

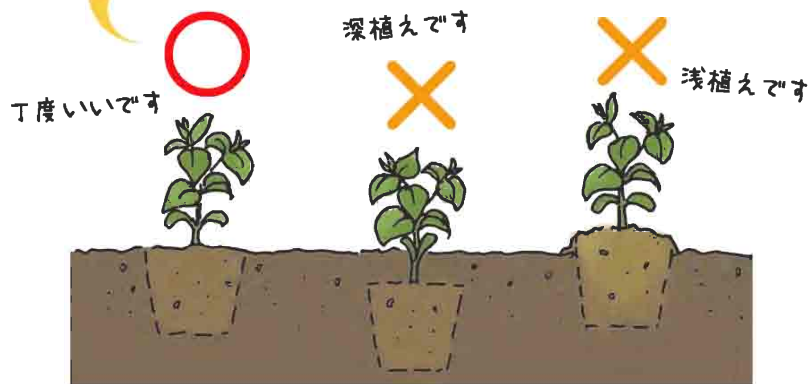


咲き終わった花がらや黄ばんだ古葉などは取ってから植えましょう。

花壇・植樹ます・植樹帯への植えつけ



植えつける深さは、苗の地際（根元）の表面と花壇の土の表面が同じになるように植えます。深植えになったり、逆に水をやったときに周りの土が沈んで苗の根鉢の部分が浮きでしてしまうような浅植えにならないように注意しましょう。

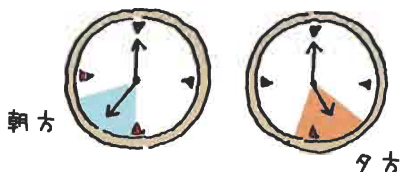


# 苗を植えた後の管理

## 1 水やり

屋外に植えた場合、基本的には自然の雨に任せますが、札幌は梅雨がなく、降水量が少ないため、水やりが必要となります。

水やりは植物の根元に朝や夕方の気温の高くない時間帯にしましょう



根が弱くなるので頻繁に水を与えないようにしましょう（乾燥したときに静かにたっぷりと水を与えましょう）



土の乾燥は、直接目で見る、触ってみるとわかりやすいです。花がしおれ気味になっていたら水やりが必要です。

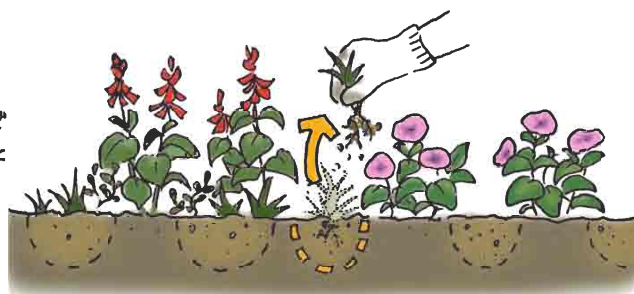


## 2 除草

雑草は土の栄養分を吸い取ってしまうほか、花壇の見栄えを悪くしてしまうので、根ごと取り除きます。

なるべく小さなうちに取りましょう

雨が降った後など  
土が湿っていると  
取りやすいです



## 3 追肥（ついひ、おいごえ）

追肥を行うことで、より多くの花を長期間楽しむ事ができます。肥料切れを起こさないように苗を植えてから1～2ヶ月後程度を目安にしますが、最初に与えている肥料の量にもよるので、植物の状態を見て調整しましょう。

固形の緩効性肥料、液体肥料などを使用します。容器・包装の説明書を確認しましょう。



# 苗を植えた後の管理

## 4 花がら摘み

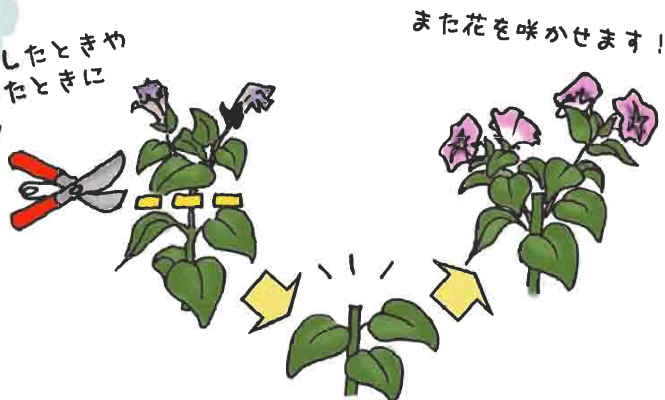
咲き終わった花はエネルギーを種づくりに使い始めます。こうなると植物は老化が始まり花が咲かなくなってしまうので、種をつける前に花がらを摘みます。花がらを一度摘んでしまっても一年草は次々と花を咲かせるので、こまめに行いましょう。



## 5 切り戻し

花苗は植えたままにしておくのと、いつの間にか姿が乱れたり、間伸びしたりするので、切り戻しをして苗の若返りを行います。

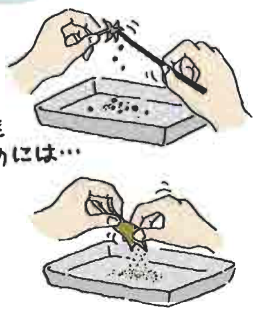
開花が一段落したときや  
姿が乱れてきたときに  
行いましょう



## 6 種をとる

花が咲き終わり、褐色になってきたら花茎から切り取って日陰で乾かし、種をとります。気温が下がると種の熟すスピードが落ちるので、9月中旬から花がら摘みをやめて、10月末までに種をとって終わります。それ以降にできた種は未熟なことが多く、発芽率が低くなります。

自分で育てた花を  
来年も楽しむためには…



種の保存は乾燥と低温が必要です。  
茶筒や紙袋などに入れて冷暗所（冷蔵庫など）に保存しましょう。



## 7 花が咲き終わった後の後始末

花が咲き終わった一年草は根ごと掘り起こし、土を落として処分します。

病害虫などを防ぐために、根ごと取り除きます。花壇の土は全体的に掘り返しておきましょう。



種まき

発芽・生育

開花

種とり

花が終わった後の管理

# 花壇のデザイン

ここでは、より花を楽しむ方法として「花壇のデザイン」のポイントを紹介합니다。

## 「花壇のデザイン」のポイント

### 1. 『敷地の状況を考える』

- 対象となる花壇をどこから見るのか、日の当たり方は、風の通り道は、等の条件を考えましょう。
- 歩道の植樹帯などに植える場合は、家庭の庭と違って維持管理の頻度も少なく、土壌条件や排気ガス、街路樹による日陰など条件が悪い場合が多いため、丈夫な性質の花苗を選ばなければ上手に育たないことがあります。

### 2. 『季節感を演出する』

植え込み全体が1年間を通して楽しめるようにしましょう。花の色、開花時期、大きさ、性質、葉の形、質感等を上手に組み合わせる事がポイントです。

#### 『春花壇』

パンジーやチューリップ等の球根類を中心とした寒さに強い種類を選びましょう。

#### 『夏花壇』

最もポピュラーな1年草類や多くの宿根草を使って彩りを楽しめる花壇をつくりましょう。

#### 『秋花壇』

斑入りの葉ものや葉牡丹等を選んで花壇をつくと、落ち着いた感じを演出できます。

### 3. 『彩りを考える』

目的（テーマ）に沿って、花壇の彩りを考えましょう。彩りを考える上で重要な事は次の4点です。

- 色の統一感や色の強弱を考える
- ポイントを配置する
- 日なたと日陰の見え方を考える
- 花と一緒に葉色も考える

単色 ひとまとめる



類似色 を組み合わせる



コントラスト を活かす



### 4. 『組み合わせを考える』

「植物の組み合わせ」として、次の4点がポイントとして挙げられます。

1年草と宿根草  
・球根類の組合  
わせ

それぞれの花の特徴を活かして季節感のある華やかな花壇づくりを行います。

立体感のある  
組み合わせ

生長速度や植込み条件等を考えて組み合わせます。植樹帯の場合は街路樹とのバランスや植栽場所を良く考えましょう。

質感を活かした組  
合わせ

形状や質感の違う植物を組み合わせるとメリハリのある花壇をつくることができます。

相性の良い  
組み合わせ

花葉の形態や開花時期などが似ている植物を組み合わせます。

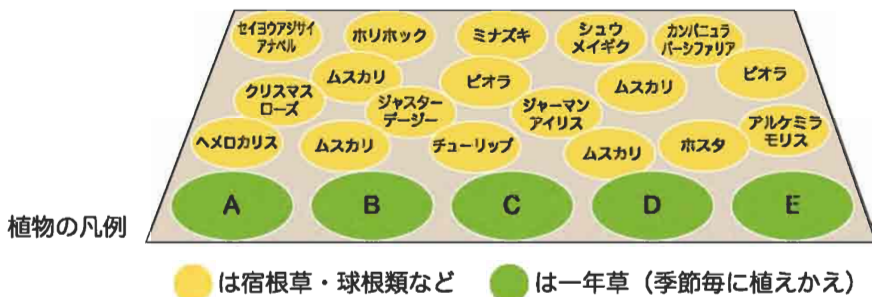
# 花壇のデザイン

## デザイン例の紹介

29ページでポイントとして挙げた4つの組み合わせ、

- 1年草と宿根草・球根類の組み合わせ
- 立体感のある組み合わせ
- 質感やアクセントの組み合わせ
- 相性の良い組み合わせ

を反映させた季節ごとの花壇のデザイン例を紹介します。



### 『春花壇』

春花壇のポイントは淡い色合いの小花の組合せです。宿根草の芽吹きของやわらかい緑に映える、春らしく優しい印象になります。



A : パンジー B : デージー C : ワシレナグサ D : アリッサム E : パンジー

## 『夏花壇』

夏花壇のポイントは、青系と黄色系の反対色の花色中心の組み合わせです。夏らしく元気でメリハリのある印象になります。



A: マリーゴールド B: スプレーギク C: サルビア  
ファリナセア D: インパチエンズ E: サルビア  
コクネシア

## 『秋花壇』

秋花壇のポイントは、暖色系の花色とカラーリーフの組み合わせです。秋らしく落ち着いた印象になります。



A: 葉ボタン B: ジニア C: コリウス&  
シロタエギク D: ナスタチウム E: 葉ボタン

# 宿根草の紹介

「宿根草」とは冬に地上部が枯れても、地下茎や根が地中に残り、翌年また葉を広げてくる草花です。一年草と違い、毎年植え替える必要がありません。

本州では越冬できても、北海道では越冬できないものもあるので、植栽するときはよく確認しましょう。

## ラミウム



- 草丈：20~50cm
- 花の色：ピンク、白
- 開花期：5~6月
- ふやし方：株分け、挿し芽
- 特徴：寒さ・乾燥に強く、日陰でも育つグランドカバープランツ（地被植物）です。

## ビンカ・ミノール



- 草丈：10cm程度
- 花の色：紫
- 開花期：5~6月
- ふやし方：挿し木
- 特徴：日陰でも育てることができ、耐寒性も強いグランドカバープランツです。

## セラスチウム



- 草丈：15~25cm
- 花の色：白
- 開花期：5~6月
- ふやし方：種まき、株分け
- 特徴：種まきでも簡単に育てられ、株もよくふえて広がります。白い小さな花が密に咲き、シルバーリーフ（白っぽいグレイ）の葉も楽しめます。

## ジャーマンアイリス



- 草丈：70cm~
- 花の色：いろいろな色があります
- 開花期：5月下旬~6月
- ふやし方：株分け
- 特徴：北海道の気候に適しており育てやすいですが3~4年に1回は株分けをし、植え替えましょう。



※ここで紹介している植物の一部について、他の園芸書では分類の仕方が異なる場合がありますが、この冊子では宿根草として扱います。

## ギボウシ



- 草丈：20~100cm
- 花の色：青、紫、白、ピンク
- 開花期：6~8月
- ふやし方：株分け
- 特徴：日陰、半日陰、湿った土壌を好む植物。多くの園芸品種があり大きさや葉色など異なる特徴の品種を組み合わせて楽しめます。

## ホリホック



- 草丈：100~300cm
- 花の色：いろいろな色があります
- 開花期：7~9月
- ふやし方：種まき、株分け
- 特徴：性質が丈夫な植物で、発芽した後はさほど手間をかけずに開花まで育ちます。

## ラベンダー



- 草丈：30~100cm
- 花の色：紫、白、ピンク
- 開花期：7月
- ふやし方：挿し木、種まき
- 特徴：日なたで水はけのよい、やや乾燥気味の土に植えます。高温多湿で枯れることも多いので、花後は株の上部3分の1程度を刈り込みましょう。

## ガウラ



- 草丈：60~120cm
- 花の色：ピンク、白
- 開花期：7月上旬~10月中旬
- ふやし方：挿し木、種まき
- 特徴：日当たりを好む植物。生育は強健で開花期間が長く、矮性種（草丈の低い品種）もあります。

# よくある質問について

**Q.** 玄関フードやバルコニーが暖かいので、そこで育てても大丈夫ですか？

**A.** 暖かい場所に置いているのは良いことですが、気温が30℃以上になると苗の生長が悪くなるので注意が必要です。また、夜は冷え込みますので暖かい室内に戻してあげてください。（★14ページを参照）

**Q.** 上から水をあげないのはどうしてですか？

**A.** 小さな種が流れてしまったり、小苗が倒れてしまったりするのを防ぐためです。また底面給水は、均一に水をあげることができるという利点もあります。水やりは土の乾燥具合を確認して行ってください。（★13,15ページを参照）

**Q.** なかなか芽が出てこないのですが、どうしたら良いですか？

**A.** 花の種類で異なりますが、種まきから芽が出てくるまでに通常3~14日ほどかかります。芽が出てこないことの原因としては温度不足が考えられます。もっと暖かい場所に置いて様子を見てみましょう。（★14ページを参照）

**Q.** 間引きをするタイミングがわかりません。

**A.** 苗が大きくなってしまうと、根が伸びて抜きにくくなるのでなるべく早めに間引きしてください。目安としては、本葉が2組（およそ4枚）くらいになったら間引くといいいでしょう。（★16ページを参照）

**Q.** 摘心をする位置がよくわかりません。

**A.** 摘心の位置がわかりにくい時は、先端のすぐ下の、少し大きくなった葉ごと切ってしまうてもかまいません。なお、ヒマワリなどの1つしか花をつけない種類は摘心してはいけませんので注意しましょう。  
(★17ページ参照)

**Q.** 花から摘みをするタイミングがわかりません。

**A.** 花が終わったり、枯れたりした時はもちろんですが、花が傷んだときに早めに行くと次の花が早く咲いてくれます。かわいそうかもしれませんが、早めの花から摘みが、花を長く楽しめる秘訣ですので、こまめに花を観察してあげましょう。(★26ページ参照)

**Q.** 歩道の植樹ますに花を植えようと思うのですが、どんな種類が良いでしょうか？

**A.** 乾燥に強く丈夫なものを選びましょう。マリーゴールド、サルビア、ペチュニア、キンギョソウ、スイートアリッサム、ペゴニアなどがおすすめです。園芸書なども参考に自分好みの花を選びましょう。  
(★6,28,32ページ参照)

**Q.** ほかの質問をしたいのですが、どこにすれば良いですか？

**A.** 園芸に関するさまざまなご相談については、専門知識を持ち、経験豊かな「緑の相談員」がお受けしています。ご相談は直接お越しになるか、お電話でお願いします。

豊平公園緑のセンター 電話：811-9370 (月曜日を除く毎日) ※

百合が原緑のセンター 電話：772-3511 (毎週木・日曜日)

平岡樹芸センター 電話：883-2891

(4/29～11/3の毎週水・土曜日)

(相談時間はいずれも午前10時～午後4時。年末年始はお休みです。)

※月曜日が祝日の場合は、翌日がお休みになります。

# スケジュール用紙の使い

花づくりの内容を記録しておくとな次の年の参考になります。スケジュール用紙に作業内容を書き込んでおきましょう。次ページの用紙に直接書き込んでもかまいませんが、たくさんの種類の花を育てる場合は、1種類につき1枚のスケジュール用紙、といった具合に用紙をコピーして使用しましょう。

花の名前を記入しましょう

花の名前	マリーゴールド
------	---------

種まき	
種購入	〇〇園芸店でマリーゴールドとペチュニアの種を購入
5月2日	
種まきの日	天気：晴れ 〇〇園芸店で購入したマリーゴールドの種をまく
5月5日	
●	
月 日	

例えば...

- ・種まきの日
- ・発芽した日
- ・本葉展開日
- ・間引き日
- ・摘心した日
- ・花芽を摘んだ日
- ・土づくり日
- ・植えつけ日
- ・追肥した日
- ・切り戻した日
- ・種とり用に花がら摘みをやめた日
- ・種とりの日
- ・後片付け日

...といったような花づくりで必要な作業項目を記入していきましょう

開花		
植え付け		種取りの日
月 日		月 日
開花の日	天気：くもり 一つ目の花が咲きはじめた 他のつぼみもそろそろ咲ききう	
月 日		月 日
切り戻し		
月 日		月 日

## ～花の観察日記～

発芽・生育	
芽が出た日	天気：晴れ マリーゴールドの種が発芽しはじめた
5月16日	
間引き	
月 日	
摘心	
月 日	

種とり	花が終わった後の管理	
	後片付け	根ごと取り除いた
	月 日	
	月 日	
	月 日	

次の年の作業の目安（参考）になるので  
どんな作業をしたのが記録しておきましょう

花の  
名前

--

種まき

種まき	
<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日	

開花

開花		▶	開花
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日		<input type="text"/> 月 日	

# ～花の観察日記～

## 発芽・生育

<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日	
<input type="text"/> 月 日	

## 種とり

## 花が終わった後の管理

	<input type="text"/> 月 日	
	<input type="text"/> 月 日	
	<input type="text"/> 月 日	



名前

発行：札幌市環境局みどりの推進部  
みどりの推進課

平成21年3月



さっぽろ市  
01-J00-08-1484  
20-1-130